

---

# 最悪じゅじゅら～ 翠

まだみる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

最悪じゅじゅら　翠

### 【Nコード】

N4287BA

### 【作者名】

まだみる

### 【あらすじ】

無責任で最弱最悪な座敷わらし系へたれ能力者の迷惑な日常。

## 序

自分で言うのもナンなのだが、私はかなり面倒臭い体質だと思う。

第一に努力が嫌いだ。

第二に根性が無い。

第三に超弩級の楽道家だ。

そんな私は何の因果か、ミョウチキリンな能力を持って生まれてきた。大部分の人々は成長と共に能力が消えてしまうというのに、不運にも私の場合は、消えるどころか益々厄介な形に進化（悪化？）してしまった。

私の能力、それは

「幸運悪運を選ばず手当たり次第に引きつけて、それを他人に擦りつけてしまう能力」。

上手く使えば儲かるのかもしれないが、非常に高度な匙加減を要するこの能力を、私の様なガサツでグータラな人間が制御できるわけも無い。結果、行く先々に騒動を巻き起こしては無責任にトンツラの繰り返し。

精神力を鍛えたり本格的に呪術を学んだりしておけば何とかなつたのかもしれないが、そういう身体に悪そうな事を想像するだけで発熱（知恵熱？）してしまうのだから仕方ない。私と違って立派に修行をやり遂げた人間を「祭司」「陰陽師」「巫女」等と呼ぶとしたら、ナンチャッテな私には「呪術師」ならぬ「じゅじゅら」程度が関の山だろう。

将来私に天啓が下って「まばゆいオーラを放つ聖人」や「世界征服を目論む魔人」になるとは思えないので、これまで通り呑気に能力を垂れ流してソコソコ平和に楽しく生きていく、というのが私の

唯一にして最大の人生設計だ。

・・・と、ここまで自虐的に駄目っぷりを説き聞かせても、それでもノコノコと迷惑を掛けられたがるアホは後を絶たない。そんなアホたちの話を聞いていただく。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4287ba/>

---

最悪じゅじゅら～ 翠

2012年1月11日15時54分発行